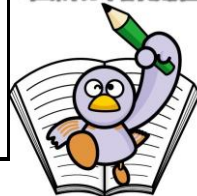


# 復習シート 第二学年 国語

埼玉県学力学習状況調査



コバトン

組
番号
名前

(目的に合わせて話し方を考える問題・理由をあげながら自分の考えを明確に書く問題)

1 次の文を読んで、後の問題に答えましょう。

田中さんたちは、国語の時間に、自分たちの身近にある「電子化」されたものの例を調べ、発表をすることになりました。次は、【発表用のポスター】や、発表の準備の時の【会話の一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

## 【発表用ポスター】

「紙の辞書」と「電子辞書」——「電子化」ってなに？

### ◆ 「電子化」とは

文書や画像などの情報を、デジタル・データに変換すること。

### ◆ 紙の辞書と電子辞書の比較

紙の辞書	<p><b>【紙の辞書の特徴】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一度に目に入る情報が多いので、調べた情報についてより深く学んだり、調べた情報以外の事柄に触れたりできる。</li> <li>ページをめくったり、つづりを確認しながら引いたりするので、記憶に残りやすい。</li> <li>電子辞書よりたいてい大きくて重いので持ち運びが大変なうえ、保管するときも場所を取る。</li> </ol>
電子化	
電子辞書	<p><b>【電子辞書の特徴】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>調べたい情報をすぐに探すことができる。また、簡単に調べられるため積極的に使うようになって、辞書を引く習慣が付きやすい。</li> <li>小さくて軽いので持ち運びがしやすく、保管するときも場所を取らない。</li> <li>高価なうえ、機械なので落としたりしないように気を付けなければならない。</li> </ol>

### ◆ クラスの人への聞き取り調査

質問：「紙の辞書と電子辞書、どちらを使っていますか？」

- 紙の辞書だけを使っている人は19人、電子辞書だけを使っている人は7人、紙の辞書と電子辞書の両方を使っている人は14人だった。

木村さん 電子辞書を使っている人は、私たちのクラスでもたくさんいるみたいだね。私も使っているけれど、荷物が多い日は特に電子辞書を使っていてよかったなと思う。

石川さん でも、どうなんだろう。電子辞書は持ち歩きやすいかもしれないけれど、それは本当に大事なことなのかな。勉強するのが目的なのだから、記憶に残りやすい紙の辞書の方がいいような気もする。それでもたくさんの方が使っているということは、やっぱり電子辞書の方が優れているのかな？

田中さん アンケートの結果を見ると、クラスのみんも、十四人は紙の辞書と電子辞書の両方を使っているみたいだし、状況に応じて使い分けているのかもしれないね。それぞれに良さがあるから、どちらが良いかって決めるのは、難しいんじゃないかな。なるほど、そうかもしれない。私も、調べるときは電子辞書、読書るときは紙の本、と使い分けているからなあ。

石川さん そういえば、今は電子書籍がはやってきているよね。電車の中で、タブレット端末で電子新聞を読んでいる人も見かけるし、このあいだ家族で旅行に行ったときは、電子パンフレットを使ったよ。電子化は時代の流れで、これからどんどん広がっていくさそう。

田中さん あらゆるものが電子化されていくと、紙のものにはなかった良さが生まれそうだなね。でも、だからといって紙のものがなくなってしまうわけでもないような気もする。それぞれに良さがあるから、私たちはそれをちゃんと知らなきゃいけないね。そして、電子化されたものとの付き合い方を考えていきたいなあ。

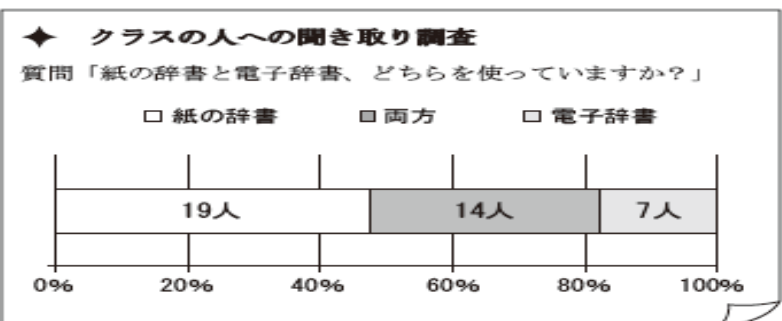
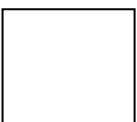
(1) 田中さんたちは、発表するときに注意すべき点を事前に確認しておくことにしました。発表するときに注意すべき点として、**ふさわしくないもの**を、次の1〜4の中から一つ選びなさい。

- 1 発表するときは、【発表用ポスター】や発表用のメモばかり見ず、聞き手の反応を見ながら説明する。
- 2 発表するときは、【発表用ポスター】や原稿の内容をしっかりと暗記して、全く同じ言葉や表現で話す。
- 3 発表するときは、【発表用ポスター】を指示棒などで示し、何について説明しているか伝わるようにする。
- 4 発表するときは、【発表用ポスター】に書かれた事柄や事実と、自分の意見や感想を区別して説明する。



(2) 田中さんたちは、「発表用ポスター」の「クラスの人への聞き取り調査」の部分で、下のよう  
 に変えることにしました。これにより生まれた効果について説明したものととして、**ふさわしくな  
 いものを、次の1〜4の中から一つ選びなさい。**

- 1 文章で書かれた内容をグラフにまとめたことで、より多くの内容を盛り込めるようになった。
- 2 文章で書かれた内容をグラフにまとめたことで、聞き手の注意を引きつけやすくなった。
- 3 文章で書かれた内容をグラフにまとめたことで、聞き手がひと目で理解できるようになった。
- 4 文章で書かれた内容をグラフにまとめたことで、項目の比較がしやすくなった。



(3) ——— 線部の石川さんの二度目の発言は、この会話の中でどのような役割を果たしていますか。その役割を説明したものととして最も  
 適しているものを、次の1〜4の中から一つ選びなさい。

- 1 木村さんの発言に疑問を示した上で、新たな考えを提示している。
- 2 木村さんの発言に賛成した上で、これからの話の方向を決めている。
- 3 木村さんの発言を受け止めた上で、他の例も交えて話題を広げている。
- 4 木村さんの発言を否定した上で、自分の意見に同意させようとしている。



(4) 最近、さまざまなものが電子化されるようになってきていますが、あなたは、電子化されていくことをどのように考えますか。ことば 根拠を明確にして、あなたの考えを次の条件1から条件3に従って書きなさい。

条件1 二段落構成で、六行以上、九行以内で書くこと。

条件2 一段落目には、電子化されていくことをどのように思うか、あなたの考えを書くこと。

条件3 二段落目には、そのように考える理由を、【発表用ポスター】の「紙の辞書と電子辞書の比較」を根拠として書くこと。ただし、

【会話の一部】で述べられていた中から、電子辞書以外の電子化されたものの例を取り上げて書くこと。

※ 解答は必ず解答题紙に書きなさい。左の原稿用紙は使っても使わなくてもかまいません。

									9行										
												6行							

次の文を読んで、後の問題に答えましょう。

上原さんは、埼玉県の特産品である「狭山茶」について深く知るために、茶業研究所の石田さんにインタビューをしました。上原さんの「インタビューの一部」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【インタビューの一部】

上原… 狭山茶について教えてください。よろしくお願いします。

石田… はい、お願いします。

上原… 鎌倉時代だといわれています。

石田… それから今まで、ずっと作り続けられているのですか。

上原… 戦乱の時代に一度は作られなくなったけれど、江戸時代に復興し、それからずっと作り続けられています。幕末に横浜が開港してからは、お茶は重要な輸出品にもなりました。

上原… 長い間作り続けられるということは、埼玉県は茶の生産に適しているということですか。

石田… お茶の木は、水はけがよく雨の多い土地を好みます。そして暖かい土地では生長が早いので、何度もお茶の葉をつみ、たくさん収穫することができます。狭山茶の産地、埼玉県南西部は、火山灰が降り積もってできた土地なので水はけがよく、雨も多いので、茶の栽培に良い条件なんです。

上原… では、埼玉県はお茶の生産にぴったりの土地なんですね。石田… はい。ただそこには、生産者の工夫や努力もあります。

「インタビューは続く」

(1) 上原さんの発言の「ア」には、どのような言葉が入りますか。あとに続く石田さんの答えを参考にして、次の1〜4の中から一つ選びなさい。

- 1 狭山茶はいつごろから作られているのですか。
- 2 狭山茶はいつごろ復興したのですか。
- 3 狭山茶はいつごろ輸出されるようになったのですか。
- 4 狭山茶はいつごろ作られなくなったのですか。

□

(2) 上原さんのインタビューの進め方を説明したものと最も適切なものを、次の1〜4の中から一つ選びなさい。

- 1 自分があらかじめ調べてきたこと、知っていることを先に話し、会話の流れをよくしている。
- 2 用意してきた話題を次々に提示して、短時間でできるだけたくさん質問ができるようにしている。
- 3 相手の答えを受けて、理解を示しながらさらに知りたかったことを質問し、話を広げている。
- 4 ただ答えを聞くだけでなく、相手の話をくり返し、自分が聞いたことを確認しようとしている。

□

(3) 上原さんは、狭山茶についてインタビューして分かったことをまとめた「カード」を作りました。この「カード」を使ってクラスで発表する時の「発表原稿」を書こうと思います。これをもとに「発表原稿の第四段落」を書きなさい。

次の条件1から条件3に従って書きなさい。

【発表原稿】

狭山茶について

- 1 埼玉県の特産品である狭山茶の起源は古く、鎌倉時代までさかのぼります。八百年以上もの長い間作り続けられているということは、埼玉県がお茶の生産に適した土地だということなのでしょう。
- 2 お茶の木は水はけがよい土地、雨が多い土地を好みます。また、暖かい土地では生長が早く、何度もお茶の葉をつむことができます。
- 3 狭山茶の産地である埼玉県南西部は、水はけがよく、雨も多く降ります。その点ではお茶の栽培に適した土地だと言えるでしょう。
- 4 ただし、埼玉県は

【第四段落】

⑤ こうして作られた狭山茶は、濃厚でコクのある味で人々に愛され、埼玉県を代表する特産品になっています。

- 条件1 六行以上、九行以内で書くこと。
- 条件2 「ただし、埼玉県は」に続くように、また、⑤段落に続くように書くこと。
- 条件3 「寒い」、「茶の葉をつむ回数」の二つの言葉を、両方とも使って書くこと。

「カード」

① 狭山茶の歴史  
埼玉県の特産品、狭山茶  
鎌倉時代から  
800年以上  
作り続けられている。

② 茶の木の好む土地  
ア 水はけがよい土地  
イ 雨が多い土地  
ウ 暖かい土地

③ 埼玉県が茶栽培に適している点  
ア 水はけ  
狭山茶の産地、埼玉県南西部は、火山灰が降り積もってできた水はけのよい土地である。  
イ 雨の量  
埼玉県南西部は雨が多い。

④ 狭山茶を作るうえでの工夫・努力  
埼玉県は他の茶産地より北に位置しており、それらの産地に比べ寒い。  
茶の葉をつむ回数は年2回（鹿児島県は年5回）  
寒さに強い品種に改良  
寒さにきたえられた肉厚な茶葉をいかす茶作り

								た
								だ
								し
								、
								埼
								玉
								県
								は

(平成二十七年 度 埼玉県学力・学習状況調査)

(1) レベル5	(2) レベル7	(3) レベル9
-------------	-------------	-------------

# 復習シート 第二学年 国語

埼玉県学力・学習状況調査



コバトン

組
番号
名前

〔目的に合わせて話し方を考える問題・理由をあげながら自分の考えを明確に書く問題〕

1 次の文を読んで、後の問題に答えましょう。

レベル9

田中さんたちは、国語の時間に、自分たちの身近にある「電子化」されたものの例を調べ、発表をすることになりました。次は、【発表用のポスター】や、発表の準備の時の【会話の一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。



## 【発表用ポスター】

### 「紙の辞書」と「電子辞書」——「電子化」ってなに？

#### ◆ 「電子化」とは

文書や画像などの情報を、デジタル・データに変換すること。

#### ◆ 紙の辞書と電子辞書の比較

<p>紙の辞書</p> 	<p>【紙の辞書の特徴】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一度に目に入る情報が多いので、調べた情報についてより深く学んだり、調べた情報以外の事柄に触れたりできる。</li> <li>ページをめくったり、つづりを確認しながら引いたりするので、記憶に残りやすい。</li> <li>電子辞書よりたいてい大きくて重いので持ち運びが大変なうえ、保管するときも場所を取る。</li> </ol>
<p>電子化</p>	
<p>電子辞書</p> 	<p>【電子辞書の特徴】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>調べたい情報をすぐに探することができる。また、簡単に調べられるため積極的に使うようになって、辞書を引く習慣が付きやすい。</li> <li>小さくて軽いので持ち運びがしやすく、保管するときも場所を取らない。</li> <li>高価なうえ、機械なので落としたりしないように気を付けなければならない。</li> </ol>

#### ◆ クラスの人への聞き取り調査

質問：「紙の辞書と電子辞書、どちらを使っていますか？」

- 紙の辞書だけを使っている人は19人、電子辞書だけを使っている人は7人、紙の辞書と電子辞書の両方を使っている人は14人だった。

木村さん 電子辞書を使っている人は、私たちのクラスでもたくさんいるみたいだね。私も使っているけれど、荷物が多い日は特に電子辞書を使っていてよかったなと思う。

石川さん でも、どうなんだろう。電子辞書は持ち歩きやすいかもしれないけれど、それは本当に大事なことなのかな。勉強するのが目的なのだから、記憶に残りやすい紙の辞書の方がいいような気もする。それでもたくさんの方が使っているということは、やっぱり電子辞書の方が優れているのかな？

田中さん アンケートの結果を見ると、クラスのみんなも、十四人は紙の辞書と電子辞書の両方を使っているみたいだし、状況に応じて使い分けているのかもしれないね。それぞれに良さがあるから、どちらが良いかって決めるのは、難しいんじゃないかな。なるほど、そうかもしれない。私も、調べるときは電子辞書、読書るときは紙の本、と使い分けているからなあ。

石川さん そういえば、今は電子書籍がはやってきているよね。電車の中で、タブレット端末で電子新聞を読んでいる人も見かけるし、このあいだ家族で旅行に行ったときは、電子パンフレットを使ったよ。電子化は時代の流れで、これからどんどん広がっていくさそう。

田中さん あらゆるものが電子化されていくと、紙のものにはなかった良さが生まれそうだなね。でも、だからといって紙のものがなくなってしまうわけでもないような気もする。それぞれに良さがあるから、私たちはそれをちゃんと知らなきゃいけないね。そして、電子化されたものとの付き合い方を考えていきたいなあ。

(1) 田中さんたちは、発表するときに注意すべき点を事前に確認しておくことにしました。発表するときに注意すべき点として、**ふさわしくないもの**を、次の1〜4の中から一つ選びなさい。

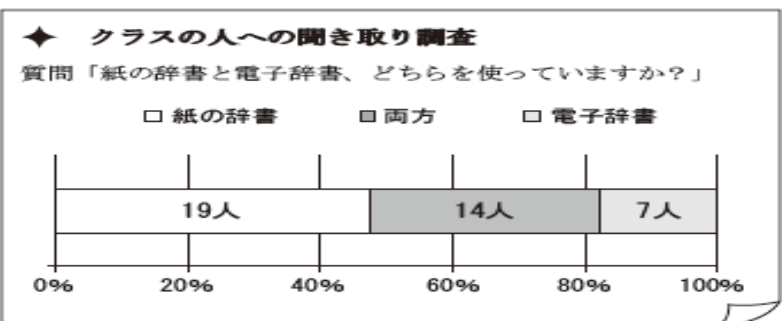
- 1 発表するときは、【発表用ポスター】や発表用のメモばかり見ず、聞き手の反応を見ながら説明する。
- 2 発表するときは、【発表用ポスター】や原稿の内容をしっかりと暗記して、全く同じ言葉や表現で話す。
- 3 発表するときは、【発表用ポスター】を指示棒などで示し、何について説明しているか伝わるようにする。
- 4 発表するときは、【発表用ポスター】に書かれた事柄や事実と、自分の意見や感想を区別して説明する。



(2) 田中さんたちは、「発表用ポスター」の「クラスの人への聞き取り調査」の部分で、下のよう  
 に変えることにしました。これにより生まれた効果について説明したものととして、**ふさわしくな  
 いものを、次の1〜4の中から一つ選びなさい。**

- 1 文章で書かれた内容をグラフにまとめたことで、より多くの内容を盛り込めるようになった。
- 2 文章で書かれた内容をグラフにまとめたことで、聞き手の注意を引きつけやすくなった。
- 3 文章で書かれた内容をグラフにまとめたことで、聞き手がひと目で理解できるようになった。
- 4 文章で書かれた内容をグラフにまとめたことで、項目の比較がしやすくなった。

1



(3) ——— 線部の石川さんの二度目の発言は、この会話の中でどのような役割を果たしていますか。その役割を説明したものととして最も  
 適しているものを、次の1〜4の中から一つ選びなさい。

- 1 木村さんの発言に疑問を示した上で、新たな考えを提示している。
- 2 木村さんの発言に賛成した上で、これからの話の方向を決めている。
- 3 木村さんの発言を受け止めた上で、他の例も交えて話題を広げている。
- 4 木村さんの発言を否定した上で、自分の意見に同意させようとしている。

3



次の文を読んで後の問いに答えましょう。

上原さんは、埼玉県の特産品である「狭山茶」について深く知るために、茶業研究所の石田さんにインタビューをしました。上原さんの「インタビューの一部」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【インタビューの一部】

上原… 狭山茶について教えてください。よろしくお願いします。

石田… はい、お願いします。

上原… 鎌倉時代だといわれています。

石田… それから今まで、ずっと作り続けられているのですか。

上原… 戦乱の時代に一度は作られなくなったけれど、江戸時代に復興し、それからずっと作り続けられています。幕末に横浜が開港してからは、お茶は重要な輸出品にもなりました。

上原… 長い間作り続けられるということは、埼玉県は茶の生産に適しているということですか。

石田… お茶の木は、水はけがよく雨の多い土地を好みます。そして暖かい土地では生長が早いので、何度もお茶の葉をつみ、たくさん収穫することができます。狭山茶の産地、埼玉県南西部は、火山灰が降り積もってきた土地なので水はけがよく、雨も多いので、茶の栽培に良い条件なんです。

上原… では、埼玉県はお茶の生産にぴったりの土地なんですね。石田… はい。ただそこには、生産者の工夫や努力もあります。

「インタビューは続く」

(1) 上原さんの発言の「ア」には、どのような言葉が入りますか。あとに続く石田さんの答えを参考にして、次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 狭山茶はいつごろから作られているのですか。
- 2 狭山茶はいつごろ復興したのですか。
- 3 狭山茶はいつごろ輸出されるようになったのですか。
- 4 狭山茶はいつごろ作られなくなったのですか。

(2) 上原さんのインタビューの進め方を説明したものと最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 自分があらかじめ調べてきたこと、知っていることを先に話し、会話の流れをよくしている。
- 2 用意してきた話題を次々に提示して、短時間でできるだけたくさん質問ができるようにしている。
- 3 相手の答えを受けて、理解を示しながらさらに知りたかったことを質問し、話を広げている。
- 4 ただ答えを聞くだけでなく、相手の話をくり返し、自分が聞いたことを確認しようとしている。

(3) 上原さんは、狭山茶についてインタビューして分かったことをまとめた「カード」を作りました。この「カード」を使ってクラスで発表する時の「発表原稿」を書こうと思います。これをもとに「発表原稿の第四段落」を書きなさい。

次の条件1から条件3に従って書きなさい。

- 条件1 六行以上、九行以内で書くこと。
- 条件2 「ただし、埼玉県は」に続くように、また、⑤段落に続くように書くこと。
- 条件3 「寒い」、「茶の葉をつむ回数」の二つの言葉を、両方とも使って書くこと。

(発表原稿)

狭山茶について

① 埼玉県の特産品である狭山茶の起源は古く、鎌倉時代までさかのぼります。八百年以上もの長い間作り続けられているということは、埼玉県がお茶の生産に適した土地だということなのでしょう。

② お茶の木は水はけがよい土地、雨が多い土地を好みます。また、暖かい土地では生長が早く、何度もお茶の葉をつむことができます。

③ 狭山茶の産地である埼玉県南西部は、水はけがよく、雨も多く降ります。その点ではお茶の栽培に適した土地だと言えるでしょう。

④ ただし、埼玉県は

【第四段落】

⑤ こうして作られた狭山茶は、濃厚でコクのある味で人々に愛され、埼玉県を代表する特産品になっています。

① 狭山茶の歴史

埼玉県の特産品、狭山茶

鎌倉時代から800年以上作り続けられている。



② 茶の木の好む土地

ア 水はけがよい土地

イ 雨が多い土地

ウ 暖かい土地


③ 埼玉県が茶栽培に適している点

ア 水はけ

狭山茶の産地、埼玉県南西部は、火山灰が降り積もってきた水はけのよい土地である。

イ 雨の量

埼玉県南西部は雨が多い。



④ 狭山茶を作るうえでの工夫・努力

埼玉県は他の茶産地より北に位置しており、それらの産地に比べ寒い。

茶の葉をつむ回数は年2回(鹿児島県は年5回)

↓

- ・寒さに強い品種に改良
- ・寒さにきたえられた肉厚な茶葉をいかす茶作り

【発表原稿の第四段落】

									た
									だ
									し
									、
									埼
									玉
									県
									は

レベル7-9  
(平成二十七年 度 埼玉県学力・学習状況調査)

(1) 1

(2) 3

(3) ただし、埼玉県は、他の産地よりも北にあり、寒いという特徴があます。そのため、茶の葉をつむ回数是一年二回で、年五回つむ鹿児島に比べると回数が少なくなっています。そこで、寒さに強い品種を改良したり、肉厚な茶葉をいかす茶作りをするなどの工夫をしています。